

県民アンケートの実施について

1 目的

新型コロナウイルス感染症対策に当たっては、日々刻々と状況が変化する中で機動的かつ柔軟な対応が必要とされており、今後の施策展開や、かながわグランドデザインの推進の参考とするため、県民アンケートを実施し、県民の声やニーズを把握する。

2 概要

- 手 段：神奈川県電子申請システム
- 対 象：県民
- 設 問：・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による困りごと
・必要な支援や対策等 など
- 期 間：7月22日（水曜日）から8月31日（月曜日）まで
- 広 報：団体等への周知、Twitter（予定）など

【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県民アンケートホームページ】

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=7059

3 アンケートの回答

回答者数 253件 （7月31日 13時00現在）

- (1) 設問「新型コロナウイルス感染症拡大の影響による現在の（又は今後想定される）困りごと」の回答

困りごとの分野	件数（複数回答可）
健康面	129件 ・生活サイクルの乱れなど
家庭面	92件 ・家族時間増によるストレスの増加など
仕事面	146件 ・勤務先で在宅勤務が実施されないなど
生活面	106件 ・感染への不安など
その他	40件 ・地方の実家に行きにくいなど
特になし	27件

- (2) 設問「(1) で選んだ項目において具体的に必要だと思う支援や対策等（又はコロナ禍における社会において必要だと思う支援や対策等）と、その理由について」の主な回答

【健康面】

- ・ 運動する機会の提供
運動できる機会が減少したため、大学の体育館を開放するなど個別に運動できる環境をつくって欲しい。
- ・ 健康的に暮らすための広報
県民の意識・知識を底上げするため、健康的に暮らすための正しい「暮らし方」、「生活様式」のモデルケースなどを広報した方がよい。

【家庭面】

- ・ 教育格差の是正
地域や学校での格差が生まれる心配があり、その差を埋める対策が必要である。
- ・ 室内で体を動かす方法の提供
子どもが家の中で過ごす時間が多くなったため体調管理が難しい。室内で体を動かす方法の動画を配信して欲しい。

【仕事面】

- ・ テレワークの推進
テレワークの導入が業務上難しいことから、今まで通り満員の時間帯に通勤しているため、オフピーク通勤の推奨などを本格的に実施して欲しい。
- ・ 給与の保証
出勤日数が減少したことによる給与の保証を充実して欲しい。

【生活面】

- ・ オンライン問診の推進
少しの体調不良であると医療機関から来ないでくれと言われるため。
- ・ 消毒などの徹底
休みに外に出掛けられず、ストレスの発散ができないため、入場規制や消毒を徹底して、気軽に出掛けられる環境をつくって欲しい。

【その他】

- ・ オンライン授業に対応する援助
大学がオンライン授業を導入したことから設備を整える費用がかかったため、経済的に援助して欲しい。
- ・ 情報の取得格差の是正
高齢者などネット環境にない人達は行政などの情報を取得する術がない。広報誌はエリアによって届く時期が異なるため、情報が平等に行き渡るようにして欲しい。